



## ありがとう、ロータリアン！ ⑨ 日本の母へ、感謝を込めて



米山学友  
オウ エンエン  
王 媛媛 さん

出身：中国  
奨学期間：2005 - 06  
学校名：福島大学大学院  
世話クラブ：福島南RC

### 初例会での出会い

私が米山奨学生になった2005年4月は、中国国内での反日デモがとても激しいころでした。当時の小泉純一郎首相の靖国神社参拝をきっかけに反日デモが起き、日本でも連日、大々的に報道されていました。

そのような中で、私は世話クラブの福島南ロータリークラブ（RC）の例会に初めて出席し、会員の皆さんの前であいさつに立ちました。日中間の緊張も手伝って、私は手のひらに汗をかいていました。

スピーチでは、そんな時期に私を奨学生として受け入れてくれたことへの感謝、自分や家族の紹介、留学のいきさつなどを話しました。最後に、日中間の政治の話題に少し触れました。スピーチを終えると、会員の皆さんが温かく拍手をしてくれて、ほっとしました。

例会終了後、一人の女性が来て「いいあいさつでしたね。でも政治の話に触れないほうがもっと良かったですよ」と、声をかけてくれました。それがカウンセラーの菅原節子さんとの出会いであり、菅原さんがカウンセラーだとわかった時、なぜかとても安心感を覚えました。

### カウンセラーは「日本の母」

菅原さんは地元FMラジオ局の社長で、とても忙しい方です。けれども、いつも私の勉強や生活を気遣ってくれました。また、日本を知ってほしいと、いろいろな所に案内してくれました。自宅に招いてくれたり、生まれて初めての海にも連れていってもらいました。ラジオ番

組に、留学生仲間と出演する機会もいただきました。その時のCDは、今でも大切に持っています。

よく知らない人から「娘さん？」と聞かれると、菅原さんはうれしそうに「そうです」と答えて、私はとても温かい気持ちになりました。クラブの皆さんからも「もう本当の親子になりましたね」と言われ、私も親しみを込めて「節子母さん」と呼ばせてもらっています。

### 疲れた時には「母」を思って

卒業後、私は中国に戻り、日系ソフトウェア開発企業の上海支社に就職しました。社会に出てから、連日の残業で疲れると、いつも菅原さんを思い出すようになりました。ラジオ局の前を通るたびに、菅原さんは忙しそうに働いていました。困難に直面した時も強い精神力で仕事に励む菅原さんを思うと、自然と力が湧いてきます。

今は故郷の四川省・成都に戻り、バイオ技術の研究や新薬を開発する会社に転職し、そこで市場開発部長を務めています。相変わらず残業も多く、本社のある北京をはじめ、中国各地を飛び回る日々ですが、仕事で関わったうつ病の患者さんが笑顔を見せてくれるようになったり、重病の患者さんが徐々に回復していく姿を見るたびに、大きな幸せを感じます。

菅原さんをはじめ、福島南RCの皆さんと接する中で「人のために奉仕する時には疲れを感じないものだ」と学びました。皆さんから教わったことは、私の人生に大



仕事を通じて患者たちと触れ合う王さん

今年度の「よねやまだより」は前年度に続き、米山学友、現役の米山奨学生から寄せられた体験談をもとに、ロータリアンとの“絆”を紹介するシリーズ「ありがとう、ロータリアン！」をお届けします。今回は、中国に帰国した今も、カウンセラーを「日本の母」として慕い、世話クラブとのつながりを大切に思う王媛媛さんからの寄稿文をご紹介します。

きな影響を与え、今後も支えてくれると思います。

## 帰国後も続くクラブとのつながり

帰国してからも、世話クラブの皆さんとのつながりを強く感じています。

2008年に故郷を襲った四川大地震の時には、地震後すぐに、奨学生の時にお世話になった野地利雄元会長から温かなお見舞いのメールをいただきました。遠い日本からの連絡がこんなに早く届くとは思ってもいなくて、とても感激しました。

昨年の東日本大震災では、福島被害のあまりの大きさに涙が止まりませんでした。すぐに、福島南RCの皆さんの安否をメールで尋ね、無事とわかった時には、本当にうれしかったです。菅原さんからは、地元ラジオ局として、地震直後から雪の降る山に登り、停電と余震の中で緊急災害放送を続けたというメールをもらいました。私は周囲の友人たちに、この素晴らしい「日本の母」のことを紹介せずにはいられませんでした。

今年9月13日、上海で菅原さんと久しぶりにお会いしました。その数日後、大規模な反日デモが起き、ニュースになりましたが、私はテレビやインターネットの情報はあまり信じません。実際に留学し、日本のことがよくわかるからです。政治がどうあろうとも、人と人とのコミュニケーションを大切に続けていきたいです。

日本からのメールを見ると、いつも福島南RCの皆さんの顔を思い出します。一生のお付き合いをさせていただきたいと願っています。いつかまた福島に行って、皆さんの前で感謝の気持ちを伝えたいと思います。



菅原節子氏から一言

媛媛さんは大変真面目に勉学に励み、例会にも積極的に参加してくれました。共に過ごした1年間は娘ができたようで、とてもうれしかったです。今年9月、私の上海出張に合わせ、媛媛さんは出張先の天津から約11時間かけて会いに来てくれました。穏やかな表情で、優しく美しく成長した姿を見て、日本の母として安心しました。聡明で、常に感謝の気持ちを忘れない媛媛さんです。人の役に立つ仕事に取り組み、自分の信じる道を歩み続けていけるよう祈っています。

## ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見、または「よねやまだより」についてのご意見を、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会まで、ぜひお寄せください。  
TEL: 03-3434-8681 FAX: 03-3578-8281  
Eメール: mail@rotary-yoneyama.or.jp

## 中国米山学友会総会 開催延期のお知らせ

『ロータリーの友』2012年9月号の本欄でご案内した通り、今年度の中国米山学友会総会は10月27日に上海で開催される予定でしたが、日中情勢の急激な悪化を受け、9月19日付で開催延期が決定されました。同学友会としても、諸般の状況を熟慮の上、参加する米山学友、ロータリアンの安全を最優先に考えた苦渋の決断であった、とのこと。

なお、今回の総会は中止ではなく延期と考えており、開催時期については年末の時点で、状況を見守りながら決めたとしています。日程が決まりましたら、あらためてまた皆さまにご案内します。学友会の張豪会長は、延期のおわびとともに「われわれ中国の米山学友は、日中の恒久的な平和推進に大きく貢献してまいり所存です。今後も、この原点をしっかりと念頭に置いて奮闘していきたいと思っております」とメッセージを寄せています。

※張豪会長のメッセージ全文は、米山記念奨学会のホームページに掲載しています。http://www.rotary-yoneyama.or.jp/